

教科・領域【 理科 】 科目【 化学基礎 】

学科・コース	全クラス(選択)	学 年	第 2 学年	単位数	3 単位
--------	----------	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

化学的な事物・現象について化学的に探求する能力と態度を持ち、基本的な概念や・原理・法則が理解でき、科学的な自然観がもてるようになる。

2 使用する主な教材等

(1) 使用教科書, 副教材等
教科書：新化学基礎（第一学習社） 副教材：ネオパルノート化学基礎（第一学習社）
(2) 授業で配布するもの
授業関連プリント

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
学 期		4	・生活の中にどのように化学が活かされているかを調べることから、化学の学習を始める。		中間考查範囲
		5			
		6	・物質の成り立ちや状態を学習し、理論的に考察する能力や態度を伸ばす。		期末考查範囲
	7				
	《課題・提出物等》				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート（考查前までの学習記録・考查後の訂正など）</li> <li>・宅習プリントなど</li> </ul>				
	《1学期の学習状況の評価方法》				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考查点</li> <li>・提出物の提出状況、小テストの結果など</li> <li>・授業・実験態度など</li> </ul>				

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
二 学 期	2 物質の構成 第1章 物質の構成粒子 ①原子の構造と電子配置 ②イオンの生成 ③元素の周期表 第2章 化学結合 ①イオン結合 ②共有結合 ③金属結合	9 10 11 12	・物質の構成粒子に注目し、世の中の様々なものがどの分類に入るのか理解する。 ・「物質の構造」及び「物質の変化」の学習を基礎にして、無機物質の化学的性質や変化を理解する。 ・化学反応における物質の変化について学習し、化学変化を理論的に考察する能力や態度を伸ばす。	・中学校で酸素、アンモニア、二酸化炭素、マグネシウム、銅、鉄は酸素との反応などで既習。	中間考查範囲  期末考查範囲
	3 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 ①原子量・分子量・式量 ②化学反応式 第2章 酸と塩基 ①酸と塩基 ②水の電離とpH				
	《課題・提出物等》  ・ノート（考查前までの学習記録・考查後の訂正など） ・宅習プリントなど				
《2学期の学習状況の評価方法》 ・考查点 ・提出物の提出状況、小テストの結果など ・授業・実験態度など					
学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
三 学 期	③酸・塩基の中和 第3章 酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤 ③金属の酸化還元反応 ④酸化還元反応と人間生活	1 2 3	・実験を通して酸・塩基の中和を理解する。 ・酸化還元反応を電子移動反応として統一的に理解する。	・中学校では酸・アルカリとして基礎的部分を学習している。	期末考查範囲
	《課題・提出物等》  ・ノート（考查前までの学習記録・考查後の訂正など） ・宅習プリントなど				
	《3学期の学習状況の評価方法》 ・考查点 ・提出物の提出状況、小テストの結果など ・授業・実験態度など				
《年間の学習状況の評価方法》 1～3学期の評価を総合する。					